

ハゲ
禿

清水ちなみ



ハゲ アタマ コウ
禿 頭 考

1996年 8 月25日 初版印刷

1996年 9 月 7 日 初版発行

著 者 ^{しみず}清水ちなみ

発行者 嶋 中 鵬 二

発行所 中央公論社

〒104 東京都中央区京橋2-8-7

電話 販売部 03-3563-1431

編集部 03-3563-3666

振替 00120-4-34

印刷・製本 大日本印刷

Printed in Japan ©1996 CHUOKORON-SHA, Inc.

Chinami Shimizu

ISBN4-12-002618-3 C 0095

●定価はカバーに表示してあります。

●落丁本・乱丁本はお手数ですが小社販売部宛お送り下さい。

送料小社負担にてお取り替えいたします。

禿頭考 目次

ハゲは見合いで不利か？

7

ハゲ男 vs 胸毛男の好感度

17

それは額か、それともハゲか

28

恐怖！ 親ハゲ子ハゲ増殖の謎

38

神はなぜ毛を生やし給うたか

49

ハゲたがり屋の頭頂部

59

朗報！ てっぺんハゲに毛が生えた

69

レディースハゲにご用心

79

日出づる国のハゲさんたち

90

のどから手が出るハゲ薬

100

ハゲさん、この指とまれ！―― 110

重要機密事項は髪にあり！―― 120

愛と哀しみの全頭カツラ―― 131

ルイ13世若ハゲの謎―― 140

中国にハゲはいない、はて？―― 150

ハゲの楽園はどこだ―― 161

すけべハゲのルーツをたどる―― 172

果報は寝て待て！ ハゲ対策―― 183

ハゲ転生の意味―― 192

抜け毛をめぐる光と影―― 203

セックスとハゲと養毛剤
214

フジヤマ、スキヤキ、すだれ頭
225

愛されるハゲの理由
235

この国のハゲのかたち
245

ハゲさん、最大の難関に挑む
256

見合い相手はハゲだった！
266

そのハゲの表わすもの
277

ハゲさんの来し方行く末
288

禿^{ハゲ}

頭^{アタマ}

考^{コウ}

ハゲは見合いで不利か？

これでやっと思う存分ハゲについて語ることができます。いま、私は喜びにうち震えています。ハゲに目標を定めて6年。

この6年間、ハゲという字を目にするたびに武者震いしてきましたが、なかなか思うように時間がとれず、私の胸の中にはいつも「ハゲ」が常駐していました。ここでやっとな、この胸の中のハゲをお陽様の下に出してやれます。

まずは、そもそもなぜ私がこんなにハゲに入れあげているのか、ハゲの何がそんなにおもしろいのか、そんなところからお話しできたらと思っています。

ある女の子がこんなことを言っていました。彼女は25歳。

「初めてした見合いの相手はハゲでした」

そーりやーシヨックだったろう！と思わざるをえません。

こう書くとハゲの方にはとてもお気の毒なのですが、「見合い」というのは普通、初対面の者同士が顔合わせをする場所ですから、「ハゲである」↓「シヨックたりえる」というのは、その

人物がいい人であるとか悪い人であるとかいう総合的なものをまったく考慮してない外見だけの問題で、ちよつと非人道的に思われるかもしれない。だから皆、口に出せないんですけどね。でも、これが以前の恋人同士だった場合で男性がハゲてしまったとしても、彼女は「別れるわ」とはたぶん言わないでしょう。

愛はハゲに勝つのです。だから、もしハゲたとしても、愛らしい自分であればどうってことありませんね。ハゲに勝るものもある。まず最初にこれだけは言っておかなければなりません。

さて舌の根の乾かぬうちからなんです、私は、ハゲは人生最大の問題だと思っています。政治よりも経済よりも、不況だろうが何だろうが、人類にとって一番重大で一番深刻な問題はハゲです。

なぜか？ さきほどの例「初めてした見合いの相手はハゲでした」、これを元に、これがなぜシヨツクなのか考えてみたいと思います。

見合いは結婚をするための顔合わせです。

普通、職業とか年齢とか家柄とか家族関係とかいろんなそういうことを考慮するらしいですが、女性としては正直なところ、「見合い」↓「結婚」↓「子作り」ですよ。つまり生物としての相性、色気の相性のようなところが一番大事なのです。もう1回例をあげますが、みんな、こんなことを言っています。

◎先月、お見合いをした。長男で両親つきだけど、でもまあいい人で、中学校の先生。性格

はまじめ。タバコは吸わない、お酒もちよっぴり……。でも、断わった。どうしても、その人を相手にSEXしたいとは思えなかった。私の両親は怒りまくり「会社も辞めて家も出てけ！ あんない人を断わったんだから当然だ！」だって。でもやっぱし、あの人とSEXしたくなかったの、私は……。 (24歳)

◎これで何回目かのお見合いをしました。私、いつもパツとその人を見て「こいつと寝れるか？」と思ってしまう。そうするとたいいてい気分が暗く、重くなるわけで。こんなこと思う私ってHすぎるのでしょうか。 (25歳)

なにも突飛な意見でもなく、見合いが一番大事なのはやはり「SEXできるどうか」の判断なのです。収入とか学歴とか、そんなバカなことが大事なのではなくて、彼自身に色気があるかどうかだと思います。もてるか、もてないかに置き換えてもいい。ただ色気は数値にできないし、個人的な嗜好もあるので釣書には書けないのですね。

で、……その場面にハゲ登場。すると私たちは「ガーン」とショックを受けるのです。

上司、社長、近所のおじさん、父、弟、誰がハゲでも他人事ですが、自分の相手となると話は別です。さきほど書いたのでもしつこいかもしれませんが、恋人が徐々にハゲるのならいいのですが、見合いの場合は「もしかしたら将来、私とSEXするかもしれない人を初めて見に行く」現場です。そこでひとめ見てのハゲ。

ハゲても何の悪いことはないのですが、見合いの場というのはもともとハゲが不利に働く場なのではないかと思えます。

ここで冷静に考えてみます。

SEXに頭髮は必要でしょうか？

私は頭髮を使わなければならない、という話を聞いたことがありますし、どう考えても機能的に髪の毛はあれには必要ありませんね。そうすると、なぜハゲが見合いに出てきちゃいけないのか？

考えてみると、ふたつばかり思い当たります。

ひとつは老いの問題です。

ひとは、たいてい年寄りになると髪が薄くなります。これは男の人にも女の人にもありうることですが、男の人の場合にはさらに顕著です。

ハゲを「ハゲるほど年がいった人」と考えることができます。ですから、「見合いの相手がハゲだった！ ガーン！」に言葉を補うと、「見合いの相手はハゲだった！ そんな年寄りが私の相手とは、私はそんなに年をとっていたのか！ ガーン！」とこのように考えることができます。しかしここで問題を複雑にするのが「若ハゲ」の存在。

「じゃ、ハゲてても若ければいいのか？ 若ければシヨック受けないんだな!？」と問われれば、申し訳ないが事態はもっと深刻であると言わざるをえないでしょう。となると、この「ハゲ」老いの恐怖説」は少し疑わしくなってきます。

さきほど述べたようにSEXに髪の毛は使いません。それがなぜ、SEXを前提にした見合いの場でこれほど顕著にハゲが不利か……。

もうひとつ私が考えたのはこうです。

ハゲはSEXに連動した二次災害である。

「ハゲⅡ二次災害説」とでも言いましょうか、つまりこれは広く言われているように、男性ホルモンがどーのこーのということです。私たち女性は、ハゲる原因になっているナニカが気に入らなくて「ハゲ」↓「ガーン！」となっているのではないか。

つまり、私たちは自分の気持ちの中のかなりエッチな部分でハゲを意識していることになりますよね。もし、人類がSEXをすることがなければ見合いにハゲが出てこようといいわけですし、人もハゲたからといって悩むこともないでしょう。

ハゲ問題はSEXの問題でもあるのです。

私のハゲに対する興味のうち、大部分はこの点にあります。ここらへんをじっくり考えていきたいと思っています。

ただ、いま男性ホルモンと言いましたが、実はこの問題は非常に複雑で、医学でも正確にわかってはいません。ハゲの原因ははっきりとはわかっていないんです。しかし「男性ホルモンが多いからハゲる」という俗説については、まるで間違いである、とどうやら断言していいようなんです。

するとハゲは、誤った俗説によって多大な迷惑をこうむっていることになります。

これは世のハゲさんのためにもはっきりとさせておかなければなりません。

さて、ここで私がハゲに興味を持った原因について少し触れておきたいと思います。

私は「OL委員会」というOLの娯楽団体の運営をしているのですが、アンケートを通じて毎月3000人くらいの女性と接触があります。

そこで「ハゲ」についてのアンケートをとったのがかれこれ6年前。結果を載せておきましょう。

Q1 あなたは陰で、ハゲのことを「あの、ハゲ」と呼んだことがありますか

たまに呼ぶ 48・0%

呼んだことはない 25・0%

いつも呼んでいる 15・0%

一度だけ呼んだことがある 6・0%

本人に向かって言ったことがある 2・0%

呼ぶ決心はついている 1・0%

Q2 ハゲをどう思いますか

嫌いだ 52・0%

気にならない 46・2%

好きだ 1・5%

Q3 次のうち、どれがいちばん好きですか

堂々たるハゲ

かつら

残った毛でハゲを覆い隠す

71・0%

26・0%

3・0%

(『おじさん改造講座』文春文庫)

Q1は、世のハゲさんたちはこのことが一番気になっているのではないかと思い、作ってみました。

で、Q2なのですが、実はここでもうひとつの設問がありました。「ハゲが嫌いだと答えた方」にうかがいます。なぜですか？というものです。すると、ほぼ全員がこう答えていたんです。

「すけべだから」

私はアンケートの束を置き、「なぜだっ！」と叫んで立ち上がりました。

ハゲとすけべの間に何の因果関係があるでしょうか。ハゲの原因さえわかってないのですから、もしかしたらハゲとすけべの間には何の関係もないかもしれないんです。「すけべそう」「脂っばい」「光ってる」「生理的にイヤ」「男性ホルモンが多そう」「なんとなく」「普通じゃない」「嫌いな人がハゲてる」「妙なコンプレックスを持っている」「ハゲる人は人生暗い」……。

このころ、私は「女は感覚的だからな」とよくおじさん達に逆襲されていました。根拠のないものについて、好きだの嫌いの言っても何の意味もない、バカラシーというわけです。

確かに、女性が「好き」と「嫌い」を口にするとき、そこには理由がついていることがあんまりないですね。「なんと言われようが嫌いなものは嫌いなよ」という気持ちがあつたかある。

理由がないものをくだらないものとして片づけてしまうのもどーかなーと私は思っているのですが、でも、この「ハゲ」のときには、選択肢を用意しなかったにもかかわらず、ほとんど全員「すけべだから」と書いてきたので驚いたのです。

理由がなくて結論がバラバラなら、本当に根拠のないくだらないものなのかもしれないんですが、これだけ同じ結論が集まってくるということは「理由がない」んじゃないくて、「理由の説明のしようがない」んじゃないだろうか。それが「感覚」というものじゃないだろうか、むむむむむーと思索しました。

だいたい感覚ってのは、無意識の記憶の総合のようなもので、頭の中開いて説明しろって言われてもムリだよなー、なんて思ったのですね。

ただ「ハゲ」はカラダのことで、医学のことでもあるはずだから、もしかしたら論理というもので説明がつくんではないか……ハタとこう思ったのが、私とハゲとの出会いです。

結局、現段階での医学をもつてしてもハゲの原因がわかってないので「女性特有の感覚」に論理性をくつつけることはできませんでした。

ハゲたからって死ぬわけじゃないので、医学ではあまり相手にされていないようなのです。残念なことです。

ハゲは悠久の昔からの大問題で、「すべての動物のうち、ヒトはもつとも顕著にハゲる」と言ったのはアリストテレスだそうです。その後もハゲへのアプローチは世界中で続き、「頭皮緊張説」とか「ハゲ遺伝説」などハゲに関する実験は多々あります。